

## 第44回村研大会報告案内

研究委員長 相川 良彦

1996年度大会の報告題目内容の「案」を、会員の自由報告申し込みにもとづいて、下記のように作成しました。セッション編成は、タイトルを含めて仮のものです。ご意見・コメントがあれば相川までご連絡ください。

自由報告の申し込み数がかつてなく多くなりました。そこで関東在住の理事・研究委員が緊急に集まり、分科会方式を取り入れるか否かについて協議しました。その結果、自由報告の持ち方は従来通り、一会場での全員参加による統一会方式を貫くことに致しました。そのため、報告者の多さに反比例して、各自の報告時間が短縮されます。具体的には、自由報告はすべて報告時間15分とする。質疑時間は年長者については5分、年少者については10分とし、少し格差をつける。また、2日目の大会テーマ・セッションの報告時間は一律30分とする。かように従来の大会と比べて、かなり報告時間が短くなりますので、効率的で効果的な発表の工夫をお願いいたします（例えば、レジメに目次や資料目録を添付、OHP利用など）。

今年度の大会では、テーマ・セッション「有機農業運動の可能性と課題---農村の再生、都市との連携」が徳野会員により企画されています。その狙いについては前号「研究通信」No.183に述べられているので、ご参照ください。具体的な報告者・報告内容については、次号「研究通信」No.185でお知らせすることになると思います。

## 学会大会案内（案）

10月25日（金）・26日（土）

自由報告セッション(仮題を含む)

[1日目]

### セッションI 村の伝統的社會關係を見すえる

- ①林 在圭 現代村落社会における同族・親類・親分子分  
--山梨県東八代郡芦川村上芦川を事例として--  
早稲田大学院
- ②大越 良裕 村落社会と講組織  
東北大学院

### セッションII 地域の集団活動を考える

- ③水上 英徳 農業生産組織の存続と個別経営農家の変貌  
--宮城県鹿島台町の事例--  
東北大学
- ④小林 浩樹 過疎地域活性化のための集団活動  
明治大学院

セッションIII 近代庄内における農本主義や地主の実相に迫る

⑤武田 共治 封建勢力と農本主義運動 弘前大学

--庄内山居倉庫を事例として--

⑥菅野 仁 農本主義と産業組合運動 青森公立大学

--山形県庄内地方を事例として--

⑦長谷部 弘 荘内地方財閥風間家の地主経営 東北大学

セッションIV 世界の中の日本農政、アジアの農業・農村を考える

⑧細川 基孝 戦後日本における農業政策の 上智大学院  
世界システム論的視座からの分析

⑨北原 淳 ポスト緑の革命とアジア農業のゆくえ 神戸大学  
--最近の研究動向を手がかりに--

⑩董 永杰 中国国有新華農場における個と集団 東京農業大学院

セッションV 農家・農民の社会過程を史的にふり返る

⑪高橋 基泰 家族構造と世代継承に関する日英農村の 愛媛大学  
比較史的分析

⑫高田 知和 1930年代における産業組合教育と農村青年 早稲田大学

セッションVI 隣接分野の概念や資料利用により農村研究を試みる

⑬明石 光一郎 農家の余剰労働力についての諸説整理 農業総合研究所

⑭鷹田 和喜三 文学に見る根釧地方の酪農村の前史 銚路公立大学

セッションVII 農家家族の在り方と継承の条件を検討する

⑮川手 哲也 農家家族の変容と家族協定 農業研究センター  
--父子契約と家族経営協定のあいだ--

⑯高村 竜平	両墓制村落における墓と家族 --舞鶴市大浦半島の事例から--	京都大学院
⑰泉館 智寛	農家継承を促進する条件	いわき名星大学

#### 番外編セッション

⑱スライド上映会 (1日目懇親会の後、任意参加方式)		
大友由紀子	世界農村社会学会 ルーマニア大会に参加して	十文字学園女子大学

#### [2日目]

セッションⅦ	産消提携と有機農業の関係を問う	
⑯波多野 豪	有機農業運動における産消提携の新展開 --兵庫県南光町の事例を中心に--	京都短期大学
⑰劉 文静	「米」産直における有機農業運動の一考察 --山形県飽海郡遊佐町の事例研究--	東北大学院

#### 大会テーマ・セッション

#### セッションIX 有機農業運動の可能性と課題 -- 農村の再生、都市との連携

座長	徳野 貞雄	広島県立大学
報告者	保田 茂	神戸大学
	青木 辰司	秋田県立農業大学
	宇根 豊	福岡農業改良普及センター
	中島 紀一	鯉渕学園
	星 寛治	有機農業者